

2015 年度 電子情報通信学会 第 3 回 SWIM 専門委員会 議事録 (案)

開催日時：2015 年 12 月 5 日(土) 11:00~12:50

場所：中野キャンパス 1 号館 1101 教室 (研究会開催教室)

参加者：司会 須栗 (委員長)、松本、片岡、宮西、丸山、荻野、黒瀬、結城、林、増井、宇田川(記)
議題：

1. 来年度の体制(委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補) 案

下記の体制が提示された。次の体制の次を見通して、幹事および幹事補については、継続して検討することとした。

委員長	宇田川 佳久	--	--
副委員長	荻野 正	副委員長	結城 修
幹事	丸山 文宏	幹事	永吉 実武
幹事補	丹原 雅夫	幹事補	

2. 2016 年度の年度計画

① 専門委員

専門委員としては、研究発表や査読などで貢献いただける方が望ましい。

専門委員を退任する場合は、後任を推薦いただくよう働きかける。

新任専門委員への就任依頼については、委員長から連絡する。

来年度は、運営委員を置かない。従来 of 運営委員の役割は、専門委員が担うものとし、規定を改定する。

役職名称 氏名 (所属)

委員長 須栗裕樹 (宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科)
副委員長 宇田川佳久 (東京工芸大学 工学部コンピュータ応用学科)
幹事 荻野正 (明星大学 情報学部 情報学科)
幹事 結城修(キヤノン株式会社 宇都宮事業所光学技術研究所計測システム開発室)
幹事補佐 丸山文宏 (株式会社富士通研究所 R&D戦略本部)
幹事補佐 永吉実武 (早稲田大学 商学学術院総合研究所 WBS 研究センター)
専門委員 堀米明 (株式会社フィジオ 経営戦略室長)
専門委員 片岡 信弘 (元東海大学)
専門委員 新川芳行 (龍谷大学 理工学部)
専門委員 谷垣豪 (株式会社ビーオーピー)
専門委員 宮西洋太郎 (株式会社アイエスイーエム)
専門委員 林 章浩 (株式会社小野測器 管理本部 CMMI 担当)
専門委員 松田順 (千代田ユーテック株式会社 千代田事業部長)
専門委員 松本正雄 (ソリューション総研 主宰)
専門委員 家田信吾 (日本電話施設株式会社 NGI ビジネス本部)
専門委員 石野正彦 (文教大学 情報学部 情報社会学科)
専門委員 増井久之 (元香川大学)
専門委員 浅井邦之 (株式会社ビーオーピー 代表取締役)
専門委員 岩田祐一 (日本電信電話株式会社 ロンドン駐在)
専門委員 飯島正 (慶應義塾大学 理工学部管理工学科)
専門委員 野地保 (元東海大学)
専門委員 黒瀬晋 (NECソリューションイノベータ (株)
第一流通サービス業ソリューション事業部 第三ソリューショングループ)
専門委員 丹原雅夫 (NTT アイティ)

(新任候補)

専門委員	小松昭英	(ものづくり APS 推進機構)
専門委員	五月女健治	(法政大学経営大学院)
専門委員	能上楨也	(東京理科大経営学部)
専門委員	稲田修一	(東京大学先端科学技術研究センター)
専門委員	木村礼壮	(合同会社ドリーム IT 研究所)

② 各種委員案

2015 年度の各種委員 (参考)

業務	2016 年度	2014, 15 年度	備考
会計	堀米	堀米	学会の仕事
ソサエティ誌委員	黒瀬	宇田川	学会の仕事
FIT	丸山	丸山	学会の仕事
総合大会	結城	結城	学会の仕事
ホームページ	須栗	須栗、谷垣	IEICE 上
メーリングリスト	須栗	須栗	IEICE 上
swim-news	片岡	片岡	Google 上
優秀論文表彰委員会委員長	委員長	委員長	表彰委員会規定による
表彰委員会委員幹事	SWIM 幹事	SWIM 幹事	
表彰委員会委員	幹事、専門委員	運営委員	
査読委員長	新川	新川	
ICEIS の担当	須栗	須栗	
ISS 功労表彰	委員長マター	委員長マター	
進捗管理 (活動フォロー)	片岡	堀米	

③ 幹事および幹事の役割分担

幹事長を、荻野氏とする。次年度の専門委員会開催の連絡、議事録作成を行う。

近々の作業として、来年度の研究会の計画を入力する、がある。マスターの連絡先 (現状、黒瀬氏) を変更するには、学会事務に依頼する必要がある。

表彰幹事を丸山氏とする。

④ 来年度の各研究会の開催場所、世話人の設定

世話人について、以下の青字のとおりとした。

未決定の事項については、継続して検討する。

	日時	開催場所	世話人	CFP	プログラム締切 (発表申込締切)	論文 件数	ページ 数予定	備考
第 1 回 研究会	5月20 日(金)	機械振興 会館	結城	1月 中旬	3月18日(金)	5	30	IT 技術とインタ プライズ、一般
第 2 回 研究会	8月26 日(金)	都内 (検 討中)	次回、決 定する	5月 初旬	6月17日(金)	6	36	インタプライズ のモデリング、 一般
FIT 2016	9月7 日(水) ~9日 (金)	富山大学 五福キャ ンパス			査読付 4/17 頃 一般 5/23 頃	--	--	

CEA TEC						--	--	2015 年度は不参加
第 3 回 研究会	12月3 日(土)	東京工芸 大学 (中野)	宇田川	8月 中旬	9月23日(金)	8	64	モデリングの実 装、一般(ワー クショップ)
第 4 回 研究会	2月24 日(金)	機械振興 会館		11月 下旬	12月11日(金)	8	50	ビジネス評価と 信頼性、学生セ ッション、一般
2017 総合	3月15 日頃	未定			未定	--	--	
					合計	27	180	

⑤ 2016 年度専門委員会計画
下記のと通りの計画とする。

	日時	開催場所	テーマ
第 1 回専門委員会	5月20日(金)	機械振興会館	年度実行計画 FIT2016 フォロー
第 2 回専門委員会	8月26日(金)	都内 (検討中)	来年度計画、功労賞他 年度実行計画フォロー 2017 年度事業計画
第 3 回専門委員会	12月3日(土)	東京工芸大学 (中野)	2017 年度体制 総合大会フォロー
第 4 回専門委員会	2月24日(金)	機械振興会館	論文賞選考委員会の立ち上げ 2017 年度新体制の提出

- ・ 委員長、副委員長ともに出席できない場合には、日程調整または Skype 利用を検討する。

3. 2016 年度の SWIM 研究会実施方針

3.1 2016 年度の予算について

学会事務局に報告したとおり、会議開催経費、基調講演謝礼、表彰賞金など、総合計：200,000 円の予算とする。

3.2 活性化方針

(松本先生)

3 件ほど忌憚なく議論しようではありませんか。

2.2.1 「専門委員改選」

2 年制等学会慣例に拘泥せず、SWIM 参加率の良い人を優先起用し、参加率の不芳な人と交代。
専門委員の候補者を各検討し、推薦いただく。

2.2.2 「産業界へ向けた情報発信」

成果を産業界へもっと発信すべきでしょう。学会使命と SWIM 存在発揚の為にです。本件でブレイン・ストーミングを行うと、理想論を言い出し、“発信に足る成果が乏しい”に始まって、総じて悲観論に陥るのが常であった。その思考では、何時まで待っても、何も発信しない状態が続くのみに見える。現実に立ち返って、“幾分でも役立つことは発信する”。たとえ立派な内容でなくても受け手によっては、黄金かも知れない。発信の「内容」、「仕方」、「効果把握と SWIM へのフィードバック」など。

業界へのアピールが不足している。（松本氏）

2013 年度 CEATEC でのセミナーで扱ったクラウドは、テーマとしては時機を得たものであったが、業界へのアピールという点では十分ではなかった。（宮西氏）

情報発信の方法としては、FaceBook に会議の様子を掲示する、ロボット、機械学習、人工知能などをテーマとするなどの案が示された。

各専門委員は、1 月末までに提案をまとめ、2 月の専門委員会で議論することとする。

2.2.3 「表示キーワード群と実行性・必要性等視点からの改版」

世間からの要請を反映し切れていないと見える。実行可能な限界は見えているが、世間（世界）が希求していることを幾分でも反映しましょう。

2016 年度秋には改訂版を出す予定。

3.3 基調講演の依頼先

2015 年度に予定していた 4 名への依頼状況は以下のとおりです。

次回の専門委員会で検討する。

(参考)

①平野氏 (2015.08.20 済み)

https://www.facebook.com/carlatsushihirano/info?tab=page_info

②三谷氏 (2016.02.26 予定)

<http://www.mitani3.com/contact/>

③今枝氏 ×

<http://goo.gl/wQz10J>

④川上氏 (2015.12.05 済み)

<http://wtp-profit.com/contact/>

4. その他の検討事項

特になし。

以上